

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 2022年 1月 31日

事業所名: とべこどもデイ青空

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	25%	25%	50%	活動を室内組と外出組に分け、スペースの確保とともに、利用者様の体調等に配慮した活動の工夫を行っております。	58%	27%	0%	15%		活動内容の工夫をし、限られたスペースでも安全に楽しめるよう配慮しております。
	2 職員の適切な配置	75%	25%	0%	職員間で協力をしながら、休みを交代するなどし、安全な職員配置を保てるようにしております。	79%	0%	0%	21%		安全をしっかりと確保できるよう、職員の配置を行っております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	25%	50%	25%	手洗い・消毒などの絵を掲示したり、活動時間を文字と時計の絵を使用して示したりするなど、自主的に行動できるよう工夫をしております。	68%	11%	0%	21%		視覚的な支援につながる掲示物を使用するなど、わかりやすく利用者様が自主的に行動できるような支援を行っています。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	50%	25%	25%	昼食の前後、様々な遊びの後など、活動ごとにテーブルの消毒をしたり、20分に一度の換気を徹底しております。	89%	0%	0%	11%		常に清潔を保てるよう心掛け、こまめな消毒を行い、清潔で安全な環境作りに努めております。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	50%	50%	0%	ミーティングでその日の課題や目標を明確にし、振り返りでその反省と次への課題を話し合うようにしております。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	25%	75%	0%							
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100%	0%	0%	毎月、外部講師による研修を実施し、資質向上を図って取り組んでおります。						
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100%	0%	0%	コロナ渦で、直接お会いしてお話を伺うことが困難な状況のため、各ご家庭にお電話にてお話を伺いするようにしております。	94%	0%	0%	6%		これまで通り、保護者様としっかりとお話をさせていただいたうえで、お子様の実態にあった、支援計画の作成に努めてまいります。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	50%	50%	0%	保護者様とより具体的な課題とそれに対する取り組みについてお話しさせていただき、支援内容の明確化と具体化に努めております。	94%	6%	0%	0%		これまで通り、具体的な課題やそれに対する支援の方法などを保護者様と相談しながら、計画の立案、記載を行ってまいります。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	75%	25%	0%	お子様の実態を把握したうえで、活動の精選や支援方法、参加方法の検討を行い、それを踏まえた計画の作成、変更を行っております。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標				
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点			はい		どちらともいえない	いいえ	わからない	保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	50%	25%	25%	事業所内研修として、支援計画を資料として、支援の統一、周知を行っております。	94%	6%	0%	0%		支援計画の説明を行う際に、保護者様と支援についての統一を図っております。	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	40%	40%	20%	毎月の活動計画を職員間で相談しながら立案し、よりよい活動になるよう努めております。							
	6	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	50%	25%	25%	活動ノートを作成し、良かった点や反省点を記入し、次回の活動に生かし、よりよい活動になるよう工夫しております。	94%	6%	0%	0%		活動内容についてお喜びの声をいただいております。今後も更なる充実を目指して参ります。	
	7	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	75%	0%	25%	平日には、お着替えなどの生活動作の支援、休日にはお買い物やお出掛けなど余暇活動についての支援など、その日に応じた支援を行っております。							
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	75%	25%	0%	毎日ミーティングを行い、その日の役割分担や活動内容の確認、支援における注意事項やお子様の近日の様子などについて周知、確認を行っております。							
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	100%	0%	0%	毎日振り返りの時間を設け、その日の反省点や良かった点を話し合い、よりよい支援を検討しております。また、当日休みの職員にも情報を共有できるよう報告メールという形で周知を行っております。							
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	75%	25%	0%	毎日の支援やお子様様を振り返りノートや個人の記録表に記入・保存し、その後の支援の改善に役立てております。							
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	50%	50%	0%	年に2回、保護者様にモニタリングの時間を作っていただき、お話を伺いしたうえで、計画の見直しを行っております。							
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	75%	25%	0%	必要に応じて、保護者様、学校関係者様、相談員様が参加しての担当者会議を実施し、積極的に参加をさせていただいております。							
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	25%	75%	0%	医療機関を受診した際に、保護者様から情報をいただいたり、学校関係者様との情報交換を行ったりしながら、支援の連携を図っております。							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	25%	75%	0%	保護者様より、主治医の先生を教えてください、疑問点や心配事があった場合には、連絡を取れるよう連携体制を整備しております。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	50%	25%	25%	担当者会議や日々のお迎えの際に、学校関係者様との情報共有を行ったり、必要に応じて個別に問い合わせをしたりと、支援内容の情報共有に努めております。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	25%	75%	0%	他事業所様と連携を図り、支援の状況や必要な情報を共有し、円滑に移行が進められるよう努めております。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	40%	40%	20%	専門機関が主催する研修に参加させていただいております。専門機関との直接的な連携については、今後の課題でもあります。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	25%	25%	50%	児童クラブや児童館への訪問はコロナウイルスの影響で実現していませんが、公園等で地域のお子様と一緒に遊ぶ機会が増えてきております。	33%	6%	0%	61%		コロナウイルス感染予防のため、児童館等の施設へは訪問を控えておりますが、公園等での地域のお子様とのふれあいの場は増えてきております。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0%	60%	40%	年に数回、収穫祭を開催しており、その際には地域の方々にもお声掛けをし、一緒に作業をしたり、収穫の喜びを共有したりしております。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	50%	50%	0%	契約の際に、支援内容に加え、利用者負担等についての説明をさせていただいております。また、問い合わせがあった際にも丁寧に説明を行うよう努めております。	100%	0%	0%	0%		今後も丁寧な説明に努めてまいります。ご不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	75%	0%	25%	保護者様へ支援計画を示しながらご説明をし、押印をいただくようにしております。	100%	0%	0%	0%		これまで同様丁寧にご説明し、よりよい支援を目指してまいります。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	25%	75%	0%	今後の課題として、保護者様も一緒に研修を受けられる機会を設け、お子様の発達についてや支援についての学びの場を設定できたらと考えております。	59%	12%	5%	24%		今後、保護者様も参加できる研修会を計画して参りたいと考えております。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	75%	25%	0%	毎回の送迎時にお子様の様子についてお話をさせていただき、発達の状況や課題についても共通理解を図っております。	95%	5%	0%	0%	今後送迎時を中心にお子様についてのお話をさせていただき、共通理解を図っていきたく思っております。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	75%	25%	0%	ご相談をいただいた際には、スタッフ間で話し合ったり、保護者様とご相談をさせていただいたりして、お子様のより良い成長を目指しております。	95%	5%	0%	0%	ご相談内容によって、保護者様とお話をさせていただいたり、スタッフ間や相談員様との話し合いの場を設け、お子様のより良い成長を目指した取り組みを行ってまいります。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	25%	25%	50%	現在はコロナウイルス拡大防止のため開催は控えておりますが、今後保護者様と事業所、保護者様間での情報交換の場を設けてまいりたいと思っております。	33%	0%	28%	39%	今後保護者会にも力を入れ、情報交換の場を設けられるよう努めてまいります。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	75%	25%	0%	苦情に関しては管理者を中心に対応させていただくとともに、解決に至らない場合は、法令遵守統括責任者が対応させていただくようになっております。	83%	0%	0%	17%	当所の管理者と法令遵守統括責任者による対応をさせていただき、早期の解決に努めてまいります。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	75%	25%	0%	口頭での情報伝達に加え、IC機器での伝達等を行っております。また、お子様へは写真や絵などを使った伝達方法の工夫も行っております。	94%	0%	0%	6%	今後も伝達方法についての工夫を行い、正確かつ的確な意思の疎通や情報の伝達に努めてまいります。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	25%	50%	25%	毎月の予定を配布させていただき、行事や活動予定を踏まえて、ご予約の計画を立てていただけるようにしております。	78%	11%	5.5%	5.5%	今後も毎日の活動内容が分かりやすいよう、活動内容の配布物の工夫を行ってまいります。
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	75%	25%	0%	個人情報の取り扱いに関しては、スタッフ全員で周知し、慎重に取り扱っております。	75%	25%	0%	0%	今後も慎重な取り扱いに努めてまいります。	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	75%	25%	0%	各マニュアルを策定し、適切に対応できるようスタッフ、保護者様に周知しております。	79%	5%	0%	16%	今後も安全に活動に取り組み、緊急時にも適切な対応が出来るよう努めてまいります。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	75%	25%	0%	年に3回以上の避難訓練を実施しております。その都度、避難に加え、防災についての学習の時間を設け、ご利用者様、スタッフ共に防災意識の向上を目指しております。	65%	0%	0%	35%	避難訓練の実施についての報告を保護者様へしっかりと行い、安心してご利用いただけるよう配慮して参ります。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100%	0%	0%	社内研修で、虐待防止をテーマに外部講師による研修を行ったり、事業所毎に虐待防止研修を実施しております。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・理解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	75%	25%	0%	身体拘束に関しては、保護者様と入念に話し合いを行い、やむを得ず行う場合には、同意書にサインを頂いたうえで、スタッフにも方法や時間など周知して行っております。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	100%	0%	0%	アレルギーに関しては、医師の指示書に基づいて、保護者様のお話を聞いて、適切に対応しております。また、スタッフ全員にしっかりと周知し、間違いの起きないよう努めております。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	75%	25%	0%	ヒヤリハットや事故発生時には、しっかりと記録を取り、事実と対応、今後の取り組みについて、スタッフ全員に周知するとともに、弊社の全事業所へも周知を行っております。						